

**藤田医科大学病院がワクチン大規模集団接種や職域接種実施に役立つ
会場運営のノウハウを盛り込んだ動画を製作**
—6月29日より大学病院HPで公開します—

愛知県の新型コロナワクチン大規模集団接種会場である藤田医科大学病院（愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98 病院長：湯澤由紀夫）は、これまでの取り組みで得た会場設営のポイントや運営の注意点などをまとめた動画を製作。自治体や企業・学校等での集団接種にご活用いただくため、6月29日より藤田医科大学病院ホームページで公開します（DVDでの提供も可）。質問や相談等にも応じる予定です。

基本型接種施設である当院は、3月8日より医療従事者約3000人の先行接種を行い、さらに5月24日からは愛知県の大規模接種会場として延べ約3万人の接種を行ってきました。医療機関としての知見をもとに会場レイアウトや動線、運用方法などについて、何度も改善を重ねて構築したこれら本学のノウハウを、自治体の大規模接種や職域接種等に活用していただくことで、ワクチン接種の加速および一刻も早い集団免疫の獲得に寄与していきたいと考えます。

- 動画タイトル：藤田医科大学病院 大規模ワクチン接種会場
—「藤田モデル」の運用について—
- 時間：10分28秒
- 構成：1. レイアウト・会場ブース
 - ① 受付 ② 予診票確認 ③ 予診 ④ 接種 ⑤ 予診票回収・接種済証明書発行
 - ⑥ 接種後観察
- 2. その他

報道用の動画は、下記 URL および右記 QR コードより
ご覧いただけます。(放送使用も可能です)

<https://youtu.be/WnXuqIbfJe4>



【動画のポイント】

受付から接種後観察まで、会場のレイアウトに沿って配慮しておきたい事項や注意点を動画と文字と音声で解説しています。

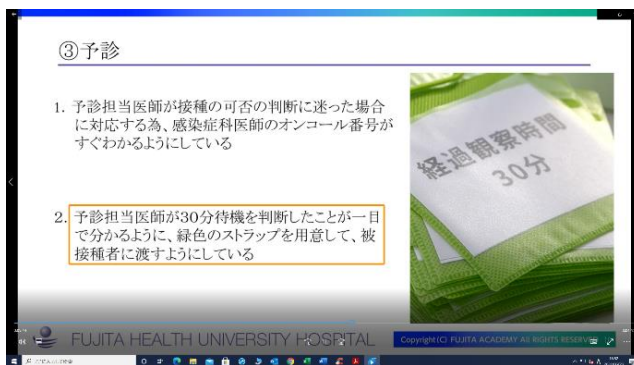
1. 会場ブースについて



〈例えば〉

- ・ 予約時間より早めに来る人が多いので、その待機スペースを確保する
- ・ 受付には高齢者が聞き取りやすいようスピーカーを設置。また、外国人対応としてポケットトークなどのAI翻訳機があると良い。
- ・ 複数の自治体や団体を扱う場合は、2回目の案内方法がそれぞれで異なることがあるため、混在しないよう所属を書いたシールを接種者の胸元に貼付。
- ・ アレルギーや持病がある方には、接種後30分の経過観察を指示したことが分かるように、緑色の使い捨てストラップをつけてもらう（画像A）。
- ・ 接種後観察は、通常の15分と30分待機（緑色ストラップの方）のスペースを分けて設置。さらに緊急時の対応がスムーズになるよう座席に付番する（画像B）。

など、安心・安全でスピーディな接種実現に向けた工夫が盛り込まれています。



画像 A



画像 B

〈本件に関するお問い合わせ先〉 学校法人 藤田学園 広報部
TEL:0562-93-2868・2492 MAIL : koho-pr@fujita-hu.ac.jp